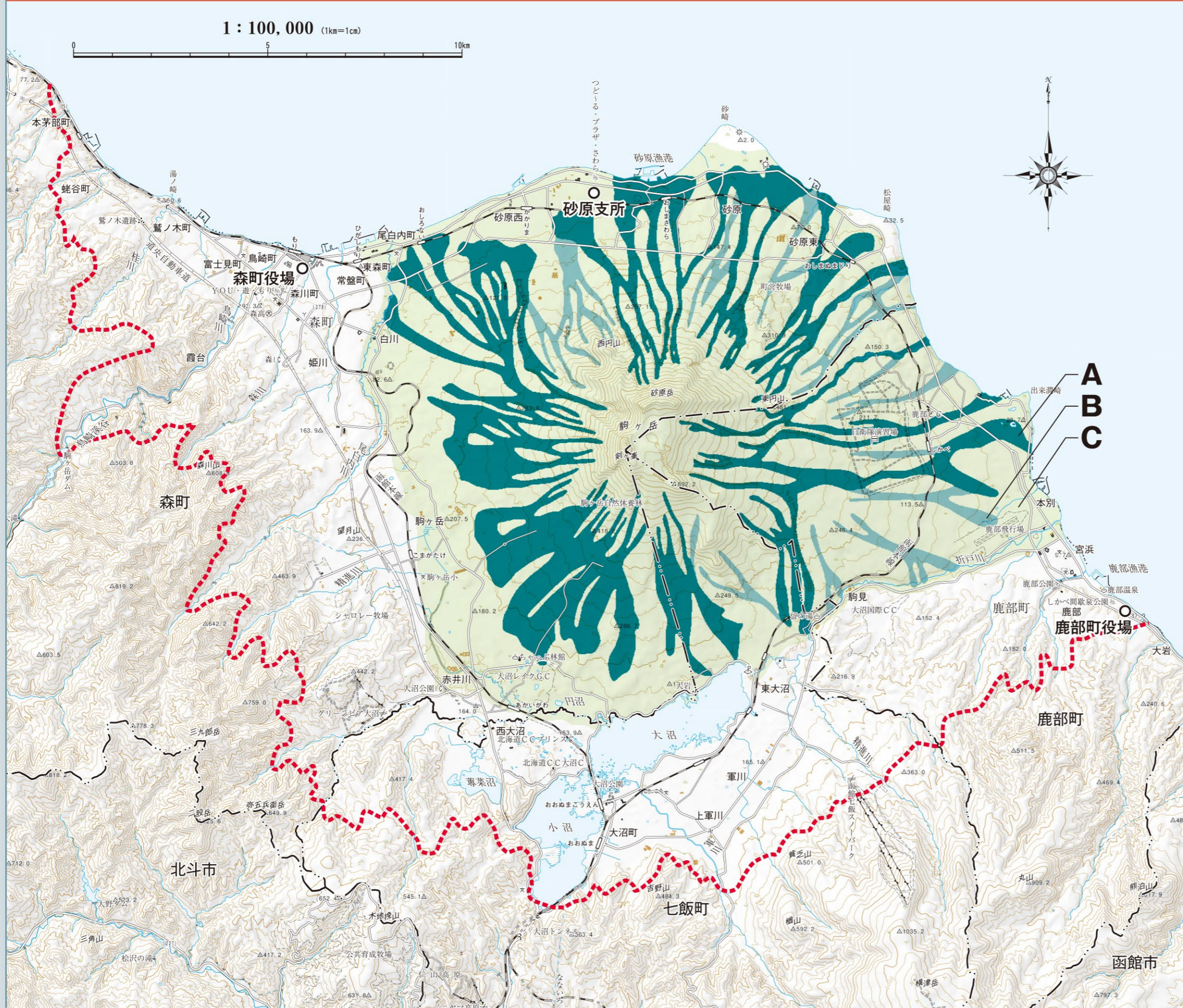
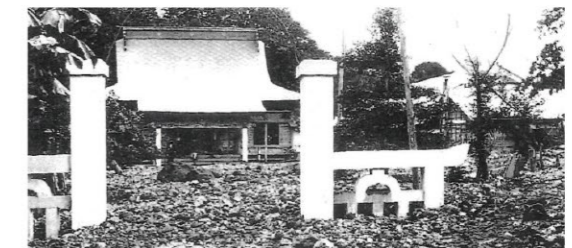


土石流・火山泥流/岩屑なだれ



「土石流」は、土砂・岩・水からなる混合物が斜面を流下する現象で、その速度は、時速50から60kmに達することもあります。北海道駒ヶ岳では、降下火砕物が10cm以上堆積したところに雨が降ると、土石流が発生しやすくなります。融雪型火山泥流は、積雪期に火砕流が一気に雪を解かすことにより発生します。土石流より高速で、広い範囲の斜面を流下する可能性があります。



土石流
〈昭和6年(1931年) 禅昌寺付近の被害〉

危険区域A 噴火後の降雨で土石流が発生する可能性が大きい。	
危険区域B 噴火後の降雨で土石流が発生する可能性がある。	
危険区域C 積雪期の噴火で発生する火山泥流が氾濫する可能性がある。	

土石流と融雪型火山泥流は主に谷沿いを流れ下り、平坦地では扇状に広がって氾濫します。噴火後に雨が予想される場合は、土石流が発生する可能性が高くなるので、川や谷に近づくのは禁物です。避難が遅れた場合は、建物のできるだけ高いところに移動しましょう。また融雪型火山泥流は、火砕流発生後直ちに生じる可能性があり、高速で流れ下るため、事前の避難が必要です。噴火の危険性が高くなったら、できるだけ早く到達(氾濫)範囲の外側に避難する必要があります。

岩屑なだれが到達する可能性のある区域 (破線の内側の区域)	
----------------------------------	--

「岩屑なだれ」は、火山体の一部が大規模に崩壊し、斜面を高速で流下する現象です。岩屑なだれが発生する可能性は低いですが、発生すると大きな被害をもたらします。もし発生した場合でも、ある一方向に流れ下るため、赤い破線の区域内すべてが危険になるわけではありません。